Science for a better life

Bayer 芝草通信 Vol.30

ストレスガード製剤予防散布プログラムは、“表面温度からも夏のベントグリーンの健全性を確認！”

今回は、2019年のストレスガード製剤予防散布プログラム試験の結果をお届けします。

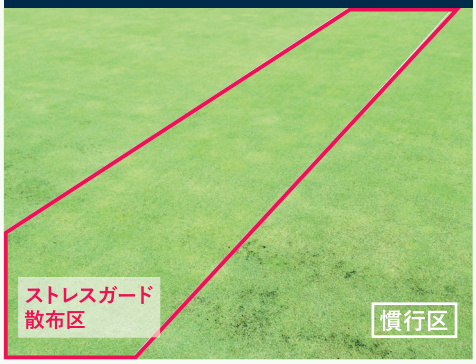
試験区の概要

/// 関東地方南部にあるベントグラス試験圃場で試験実施
/// 1区10㎡の試験区を設置し、試験区内はストレスガード製剤予防散布プログラムを実施
/// 散布は電動噴霧器を使用し、散布水量は100ml/㎡を基本とした
/// 慣行区はスプレーヤーを使用し、散布水量は150ml/㎡を基本とした
/// 試験区と試験区外（慣行区）との芝生の状態を比較した

結果

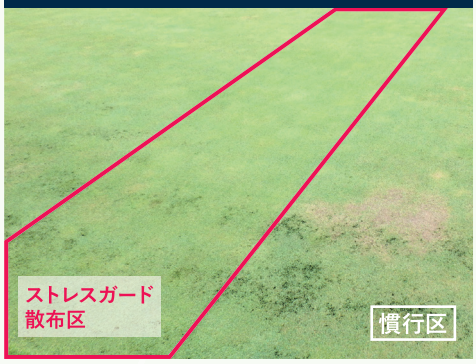
ストレスガード
プログラム区は枠線内

2019年7月19日



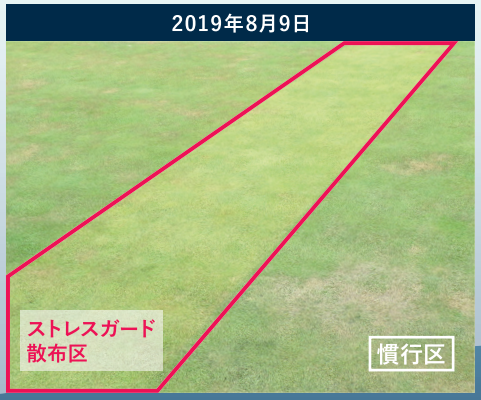
》慣行区に比べて藻類の発生を抑えている

2019年7月29日



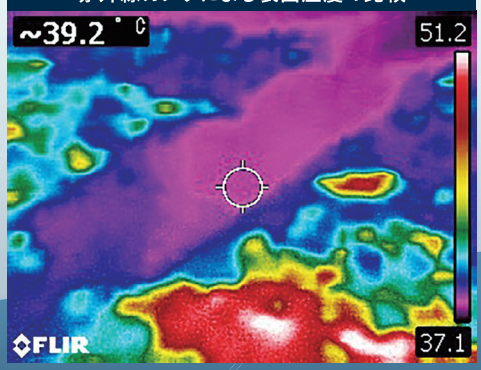
》慣行区ではベントグラスがダメージを負っているが、ストレスガード区では健全な状態を維持している
》両区とも藻類の発生が見られるが、ストレスガード区の発生量は慣行区に比べて少ない

2019年8月9日



赤外線カメラ

赤外線カメラによる表面温度の比較



》慣行区では暑さによるダメージが顕著になっているが、ストレスガード区では健全な状態を維持している
（慣行区で色が濃いのは、他社紫外線カット資材散布の影響）
》ストレスガード区は慣行区に比べて表面温度が低く抑えられていることが分かる

まとめ

/// ストレスガード予防散布プログラムは慣行区に比べて夏のダメージや藻類の発生が少なく、健全な状態を維持することができた
/// 夏期高温時においてもベントグラスが正常に蒸散を行えていることが、表面温度の低下につながっていると考えられる
/// 慣行区に比べて殺菌剤のコストは高くなっているが、夏のダメージを受けたベントグラスを回復させるためのインターシード費用、芝の差し替えや散水の手間などを考慮すると、トータルコストを低く抑えることができると考えられる

実際に散布した殺菌剤の詳細は裏面へ

使用した殺菌剤の比較

（カッコ内の数字は薬量g, ml/㎡）

/// ストレスガード製剤プログラム区

★ ストレスガード製剤

散布時期	4月	5月		6月		7月				8月		9月	
	19日	上旬	16日	30日	11日	19日	2日	11日	19日	29日	9日	19日	3日	10日
薬剤名	★シグネチャー（1.0）		★ミラージュ（0.5）	★シグネチャー（1.0）	プロテクメート（1.0）	★インターフェース（1.0）	★シグネチャー（1.0）	★シグネチャー（1.0）	★ミラージュ（0.5）	★シグネチャー（1.0）	★インターフェース（1.0）	★シグネチャー（1.0）	プロテクメート（1.0）	★シグネチャー（1.0）
	TPN		プロテクメート（1.0）	TPN	TPN		TPN	TPN		ピシウム剤（QiI）	ピシウム剤（テトラゾリルオキシム）	ピシウム剤（フェニルアミド）	TPN ピシウム剤（QiI）	TPN

/// 慣行区

散布時期	4月		5月		6月		7月					8月						9月	
	15日	27日	6日	30日	11日	21日	1日	17日	27日	29日	30日	5日	11日	15日	22日	23日	26日	2日	13日
薬剤名	ピシウム剤（QiI）	ジチオカーバメート+TPN	ジチオカーバメート+TPN	ジチオカーバメート+TPN	ジチオカーバメート+TPN	ピシウム剤（QiI）	ジチオカーバメート+DMI	ジチオカーバメート+DMI	★シグネチャー（1.0）	ピラジフルミド+ボリオキシン	銅剤	ジチオカーバメート+DMI	ピラジフルミド+ボリオキシン ピシウム剤（QiI）	★シグネチャー（1.0）	プロテクメート（1.0）	SDHI	ピシウム剤（QiI）	ピシウム剤（QiI）	プロテクメート（1.0） ピシウム剤（QiI）

ストレスガード製剤 予防散布プログラムのポイントはこちら

芝草通信 vol.10

芝草通信 vol.20

ストレスガード製剤の最新情報はこちら

バイエルがおすすめする予防散布プログラム殺菌剤

ストレスガード製剤を中心とした殺菌剤の予防散布プログラムで、病気に強い健全な芝生づくりを目指してみてはいかがでしょうか。

Stressgard® Formulation Technology



シグネチャーWDG



ミラージュフロアブル



インターフェースフロアブル



プロテクメートWDG

Bayer × LINE 公式アカウント

タイムリーな芝草管理情報を配信中！

1 LINEの「ホーム」から右上のアイコン をタップ。
2 右記のQRコードを読み取って、友だち追加！

バイエル クロップサイエンス株式会社　エンバイロサイエンス事業部　|　〒100-8262 東京都千代田区丸の内 1-6-5　www.environmentalscience.bayer.jp